

フォトエッセイ#239

横浜市金沢区

泥亀公園の黒梅

金沢の八銘木の一つの黒梅が
泥亀公園で咲きました
見に行ってやってください

この黒梅は絶えて久しかったのを
寂聴さんの庭にあると知り
秘書さんにお願いして
出入りの植木屋さんの接ぎ木を
もらい受けたものなんです
・・・ 身近な人の話です

2026.2.14
島田祥生

α7c + Micro-NIKKOR 55mm



泥亀公園は
国道16号線沿いの
金沢区総合庁舎の敷地内にあって
金沢文庫駅から歩いて10分くらい
そういえば
金沢文庫も称名寺も
行ってないなあ



今日は
ぽかぽかとしていいお天気
件の「黒梅」は満開でした

くろうめ

金沢八名木「黒梅」

ウメ・クロウメ（梅‘黒梅’）

学名 *Armeniaca mume* (Siebold et Zucc.) de Vries 'Kuroume'

科名 バラ科

江戸時代の「順礼物語（名所和歌物語）」に初めて登場した時点から
「今は絶えてなし」とあり、その後の「新編鎌倉志」にも称名寺境内
に植栽地跡が示されているのみです。

この木は、令和3年（2021）に瀬戸内寂聴の「曼陀羅山 寂庵」から
「黒梅」と呼ばれる紅梅の枝を譲り受け、接木増殖させたものです。
なお、他の復元した樹木同様、当時と同じ品種であるかは定かではありません。



流石銘木！！！

いいお色

いいお姿

銘木復活

花を付けた時は

さぞ嬉しかったでしょうね



銘木と聞いているからではなく
本当に見飽きません

このようなカメラアングルも



大木に見えましたか
「ここまで大きくなった」と
喜んでいました

実物は
十分立派な立ち姿です

せいこうめ

金沢八名木「西湖梅」

ウメ‘ヤツブサ’(梅‘八房’)

学名 *Armeniaca mume* (Siebold et Zucc.) de Vriese ‘Yatsubusa’

科名 バラ科

せいこうめ
金沢八名木の一つ「西湖梅」は白梅であるとされており、一つの花から
複数の実がなる「八房」という品種であると考証されています。こちらの
木は同じ品種ですが赤花です。もう一つの白花の木とともに、この木は、
平成二十年(2008)区制60周年記念として小石川植物園より譲り受けた
枝から接木で増殖させたものです。



これは
紅梅
白梅もどこかにあるようですね



かなり大きな
立派な木です

遅咲きのようで
まだ梢にちらほら



低いところで咲いているのを見つけました
一つの花から複数の実がなるとか
どうなっているのか
見に来たいものです

金沢区総合庁舎

泥亀公園は
区民は伸び伸びと出来るよう
広い芝生
周りにたくさんベンチ

黒梅はあの親子づれの先にあります

芝生では
自転車乗りに挑んでいました

目の前で乗れるようになりました
親子4人大喜び

乗れるようになると
目に見えてうまくなっていきました





庁舎建物の日だまりでは
楽器の演奏

気持ちよさそうな音色が
聞こえてきました



何やら由緒ありげな花
ハ銘木の中に
あと2本の梅がありました
そのうちの1本かな



そのお隣の一本
似ているようですが
何となく違うような



説明板が付いていたと思われる柱が

この公園の開園時に
八銘木のうち7本はあったそうですから・・・

でいきしんでん 泥亀新田

金澤発展の礎

この辺りは、江戸時代「内川入江」と呼ばれた内海でした。いくつかの新田開発により今は土地になっていますが、最も大きな新田開発が「泥亀新田」です。江戸湯島聖堂の儒官を辞めて金沢に移り住んだ永島祐伯(号:泥亀)が、寛文8年(1668)に走川(現寺前)と平潟(現平潟町、乙軸町)に新田を作りました。完成した新田は、祐伯の号になんて「泥亀新田」と名付けられました。さらに天明6年(1786)には内川入江全域が埋め立てられ「金沢入江新田」と命名されました。これらの新田は津波や洪水等による荒廃と復旧が繰り返され、永島家代々約180年に及ぶ苦闘の末、嘉永2年(1849)に完成しました。明治以降、走川・平潟・入江の三新田を合わせて「泥亀新田」と呼ばれるようになり、町名として残りました。現在の泥亀一丁目・二丁目辺りで、官公庁や大型商業施設がある金沢区の中心地です。



金沢区役所
NPO法人 横濱金澤シティガイド協会

金沢にかつて存在した八本の名木

金沢八名木とは、金沢にかつて存在した八本の名木を指します。

称名寺の

青葉楓（あおばのかえで）、西湖梅（せいこうめ）、黒梅（くろうめ）、
桜梅（さくらうめ）、文殊桜（もんじゅざくら）、普賢象桜（ふげんぞうざくら）

瀬戸神社の

蛇混柏（じゃびやくしん）

雀が浦（すずめがうら）の

一本松（ひとつまつ）の八本です。

これらの名木は、現在、原木はすべて絶えていますが、金沢の歴史や文化を象徴する重要な存在であり、現在も復元を目指して植樹活動が行われています。

とのことです



見に行ってよ！見に行ってよ！
熱心に勧められました

来てよかった
いい目の保養になりました

次は「八房」の実を見るのと
残りの6銘木探し
楽しみができました